

# 富士北麓駐車場

## サウンディング型市場調査実施結果概要

### 1. 調査期間

(申込) : 令和7年11月19日(水曜日)から12月3日(水曜日)

(調査) : 令和7年12月16日(火曜日)

### 2. 参加事業者数

1者

### 3. 主な対話事項

#### (1) 施設の現状と現状認識

##### ア 駐車場としての機能・魅力

- マイカー規制期間中は利用が多く、五合目に向かう利用者の駐車拠点として機能している
- 主目的は「五合目アクセスのための駐車場所」であり、駐車自体が来訪目的となるケースは少ない
- マイカー規制期間以外にもサイクリング利用者など一部にニーズは存在
- トイレ環境は問題なし

##### イ 課題

- 平日は「閑古鳥」と表現されるほど利用が少ない
- 観光の玄関口としての役割は限定的で、富士山世界遺産センターの方が玄関口としては適しているとの認識
- 現状は「駐車場」という印象が強く、集客力・滞留性が弱い
- Wi-Fiはあるが電波状況が悪く、利用手続も煩雑
- 売店がなく、登山者が求めるコンビニ型の売店ニーズに対応できていない
- 電気自動車の事前申請はA4紙対応で煩雑。インバウンドへの説明も負担大
- 料金徴収業務の自動化は、その他の業務量が多く踏み切れていない
- 第1駐車場の街灯が不足しており、暗く感じている
- 電力契約・電気代戻入(キャップ設定)について丁寧な改善検討が必要

#### (2) 民間ノウハウを活用した県民サービス向上に関する提案

##### ア 利用者利便性の向上

- Wi-Fiの品質改善、手続の簡略化
- デジタルサイネージ導入は有効だが、平日の利用者等使用者が増えてから導入すべきものと捉えている
- 電気自動車申請の事前オンライン化など、外国人向けの案内負担軽減を希望

イ 施設設備・機能強化

- 売店の設置（コンビニ型、小物や飲食物を幅広く扱うタイプ）
- 第1駐車場に街灯を追加設置
- 現在簡単に駐車場に入れてしまうため、ゲートの改善（鉄製ゲートなど）も今後の改善の選択肢と考えている

ウ 事業方式・収益モデル

- マイカー規制時の料金徴収方式は現行がベストと考える
- 徴収の自動化は将来的に必要と考えるが、コストと見合わない点が課題

エ 管理区分に関する提案

- 電力契約は丁寧な対応と費用の見直し（平均値の適正化）を要望

オ 自主事業の提案

- 高齢者向けなどに駐車場を常時開放し、ウォーキング利用等での使用可能である旨を周知
- 老人ホーム、保育園、学校等を対象とする駐車場使用周知強化
- 移動式遊園地やストリートミュージシャンコンサートなど新規イベント
- 学生ジャズバンド等の演奏イベント開催
- 臨時駐車場の特性を生かした企画の検討

(3) 効果的・効率的な運営・維持管理に関する提案

- ゲート設置や自動化の検討により、徴収業務の効率化を図る
- Wi-Fi・電力契約などインフラ面を整備し管理側・利用者側双方の負担を軽減
- 開放的な管理（柵を使わず開放）による地元住民の利用促進

4. 今後の対応

今回の提案を踏まえ、指定管理業務の検討に活用する。